



平成29年3月期決算説明会

平成29年6月14日
藤田エンジニアリング株式会社

代表取締役社長
藤田 実

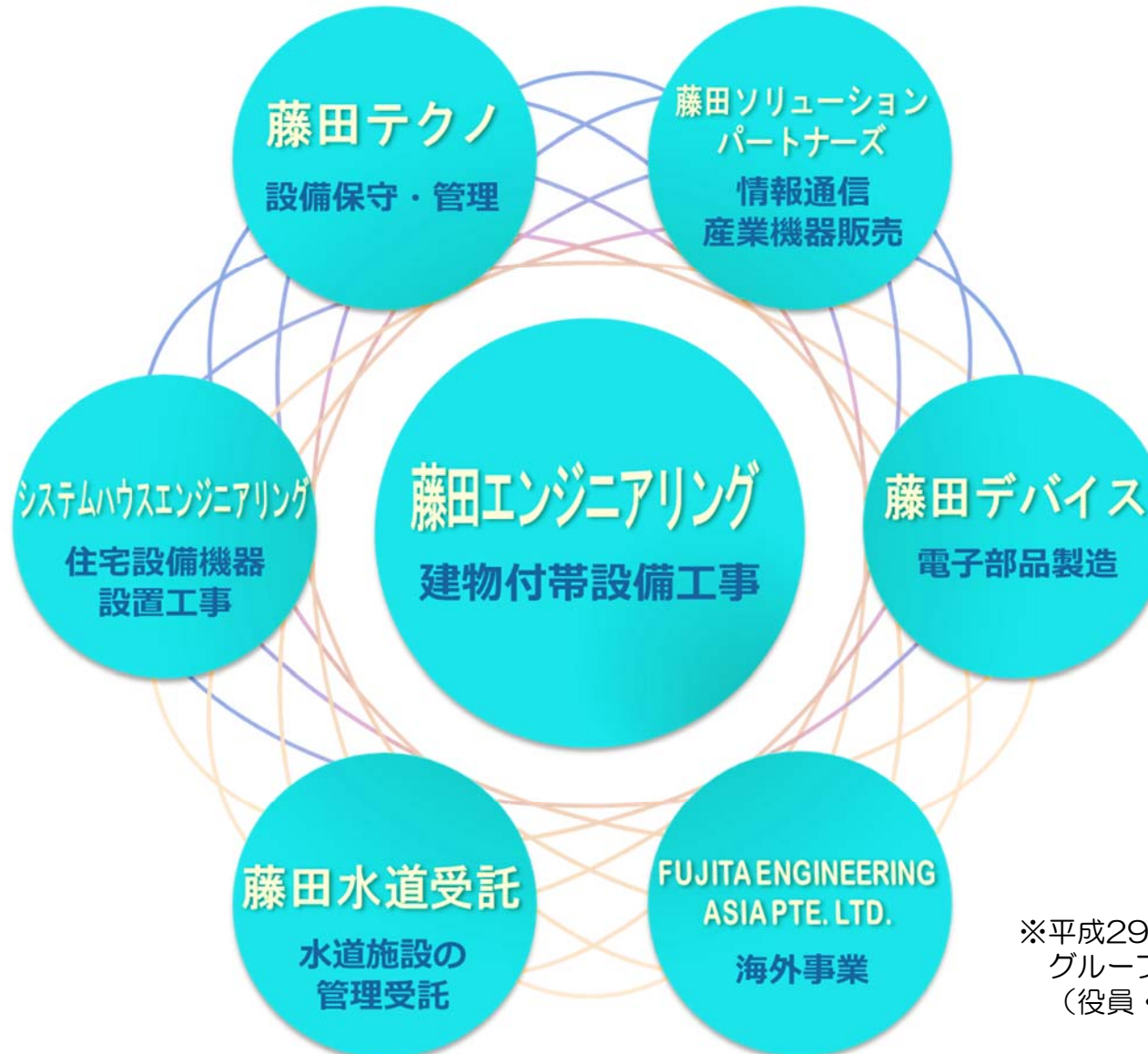
目 次



1. 藤田グループ事業概要
2. 平成29年3月期 決算概要
3. 資本政策
4. 中期経営計画 Integrity & Initiative
5. 平成30年3月期 事業方針
6. 平成30年3月期 業績見通し

藤田グループ事業概要

藤田グループ事業概要



※平成29年3月末時点
グループ人員総勢796人
(役員・顧問を除く)

平成29年3月期 決算概要

平成29年3月期<連結>業績概要

● 連結損益計算書

	平成28年3月期		平成29年3月期		増減率
	金額(百万円)	売上高比	金額(百万円)	売上高比	
売上高	26,976	100%	26,287	100%	△2.6%
営業利益	1,364	5.1%	1,427	5.4%	4.6%
経常利益	1,307	4.8%	1,521	5.8%	16.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	761	2.8%	1,009	3.8%	32.6%
1株当たり配当金	16円		23円		
	中間8円 期末8円		中間13円 期末10円		

平成29年3月期<連結>業績概要

● 連結貸借対照表

(単位:百万円)

● 経営・財務指数

	平成28年 3月期	平成29年 3月期	増減
流動資産	14,821	16,498	1,677
固定資産	4,543	4,735	191
資産合計	19,365	21,234	1,868
流動負債	9,219	10,175	955
固定負債	1,109	1,123	14
負債合計	10,328	11,298	969
純資産合計	9,036	9,935	898
負債純資産 合計	19,365	21,234	1,868

	平成28年 3月期	平成29年 3月期
1株当たり 当期純利益	70.99円	111.02円
自己資本 当期純利益率	8.1%	10.6%
総資産 経常利益率	6.5%	7.5%
売上高 営業利益率	5.1%	5.4%
自己資本比率	46.7%	46.8%
1株当たり 純資産	993.57円	1,092.38円

【セグメント別売上】

■ 電子部品製造事業

半導体関連部品、製造工程省力化装置の受注がともに堅調であったことにより、売上高は15億28百万円（前連結会計年度比17.3%の増加）

■ 機器のメンテナンス事業

太陽光発電機器の設置は低調に推移したものの、設備機器メンテナンスが堅調であったことにより、売上高は54億68百万円（前連結会計年度比2.5%の増加）

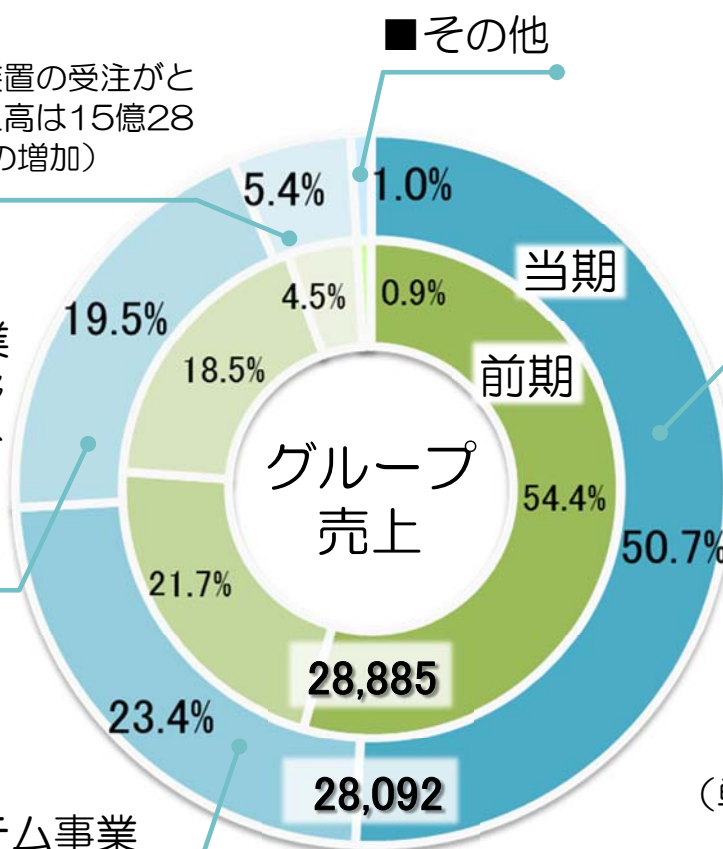
■ 機器販売及び情報システム事業

製造業や公的機関向けの機器販売が増加したこと等により、売上高は65億73百万円（前連結会計年度比4.8%の増加）

■ その他

■ 建設事業

工事の引渡し時期や進捗等の影響により、売上高は142億53百万円（前連結会計年度比9.3%の減少）

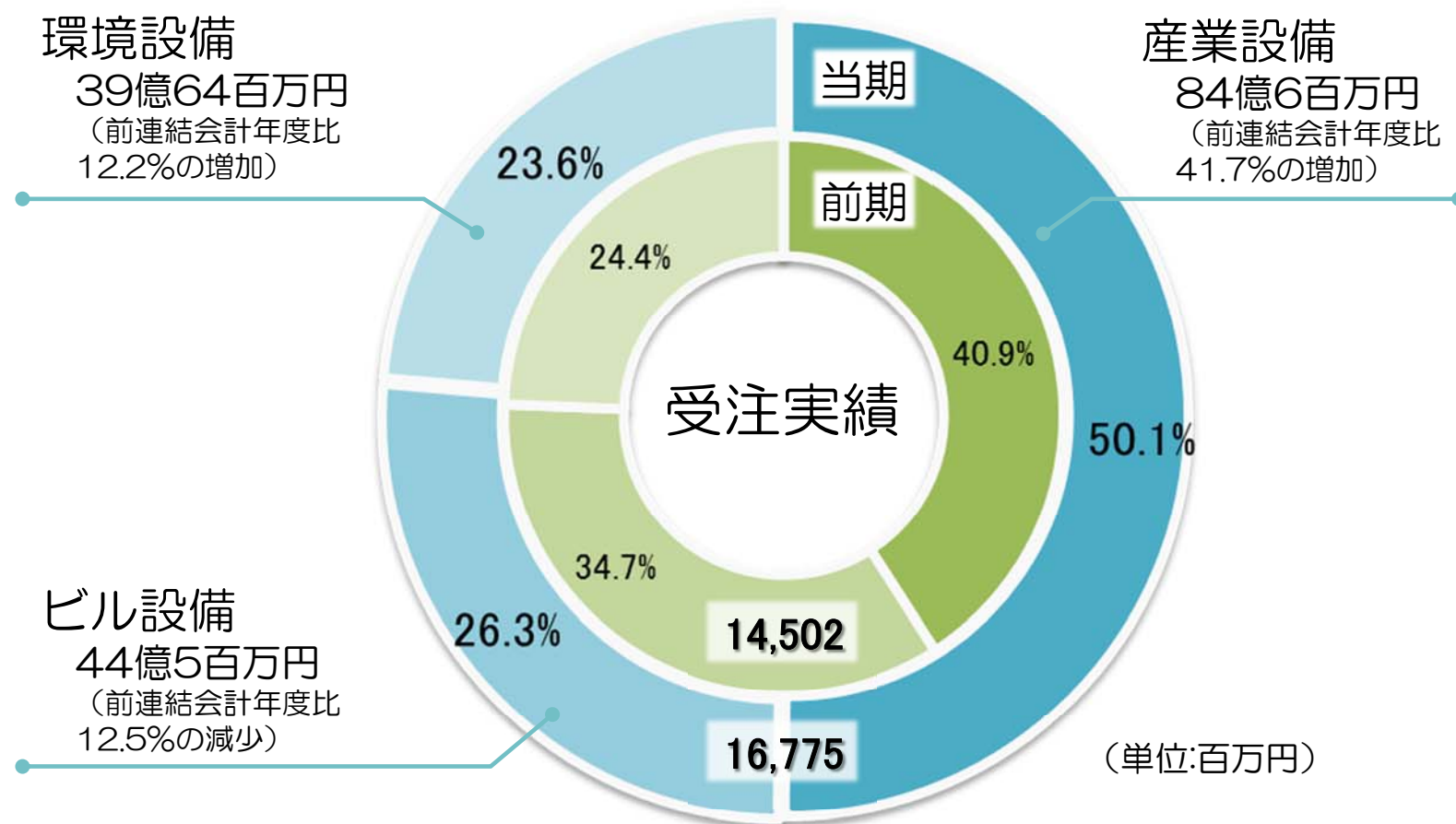


(単位:百万円)

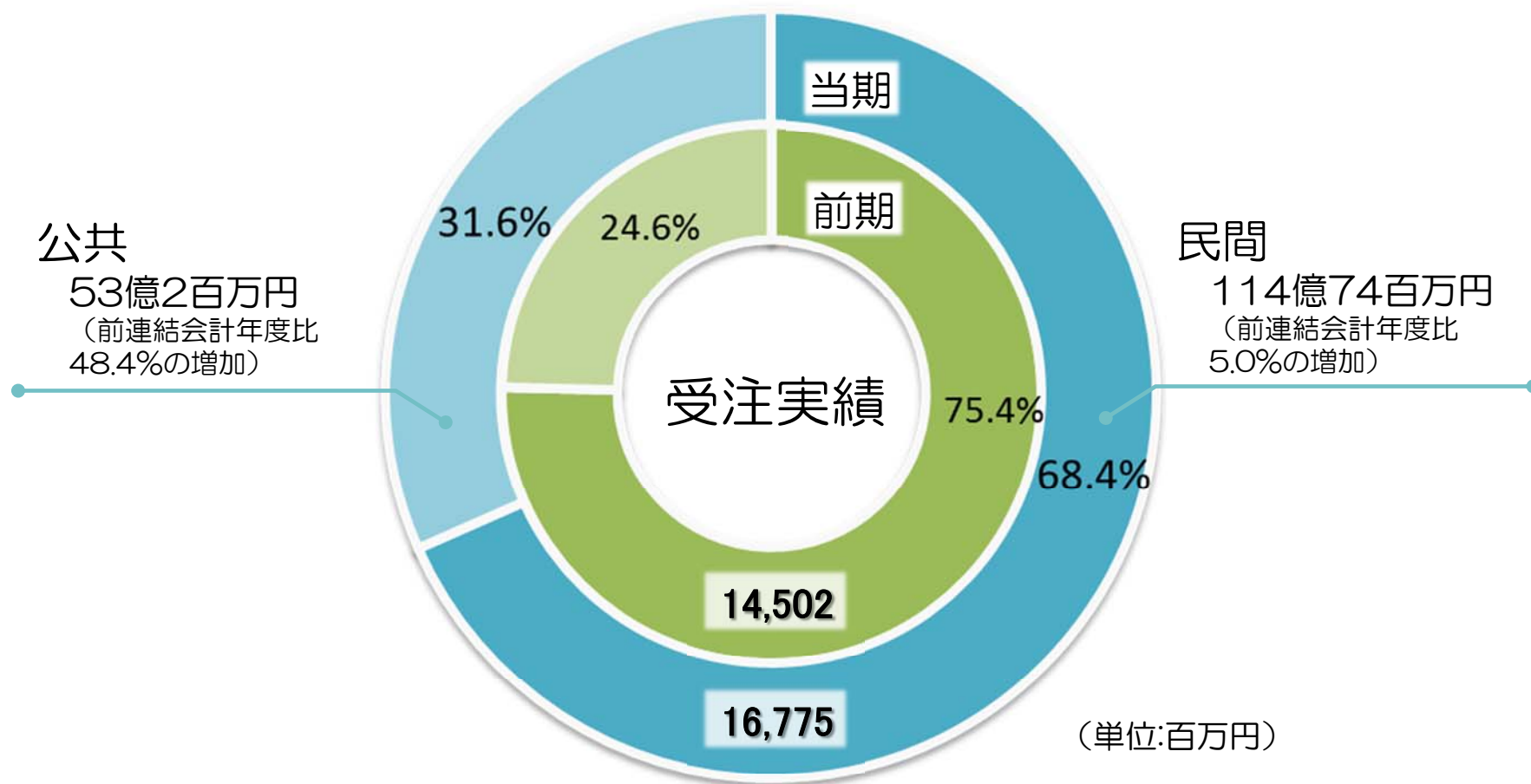
※セグメント間取引消去前の金額によっている

藤田エンジニアリング単体受注実績

受注高 前連結会計年度比15.7%の増加



【公共・民間別受注実績】



【分野別受注実績】

(単位:百万円)

	平成28年3月期		平成29年3月期	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
工場施設	5,924	40.9	8,406	50.1
浄水場	1,107	7.6	2,727	16.3
病院・福祉施設	3,326	22.9	1,577	9.4
スポーツ・文化施設	390	2.7	581	3.5
学校	292	2.0	501	3.0
ホテル	540	3.7	313	1.9
その他	2,921	20.2	2,668	15.8
合計	14,502	100.0	16,775	100.0

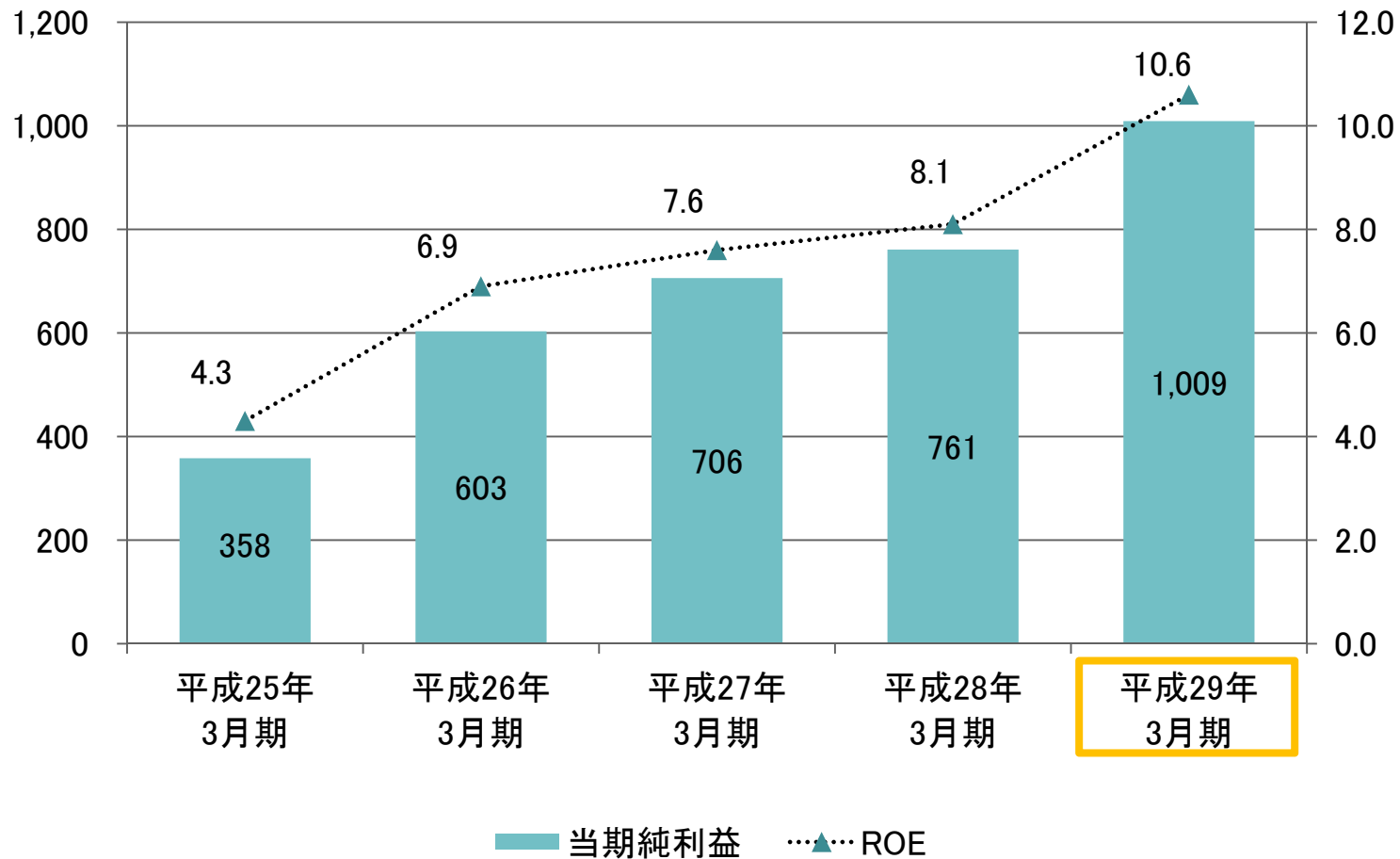
資本政策

当期純利益及び自己資本当期純利益率（ROE）の推移



(百万円)

(%)



株主配当

配当基本方針

財務体質と経営基盤の強化ならびに今後の事業展開等を勘案した上で、安定的な株主還元を継続する

平成29年3月期： [中間] 13円（普通配当 8円 + 記念配当 5円）

[期末] 10円（予定配当 8円 + 増配 2円）

平成30年3月期： 普通配当を18円から20円に増配（予定）

		平成28年 3月期	平成29年 3月期	平成30年 3月期 (予想)
年間配当金 (円)	第2四半期末	8	13	10
	期末	8	10	10
	合計	16	23	20
配当性向	(%)	22.5	20.7	17.8
純資産配当率	(%)	1.7	2.2	

(注) 平成28年3月期に2,100千株の自己株式を取得

中期経営計画

Integrity(誠実) & Initiative(主導権)

平成29年度～31年度

『新たな成長に向けての基盤づくり』

社会や顧客のニーズに
トータル・ソリューションで応える

- [ニーズ]
- コスト削減
 - 安全・健康・快適
 - 環境負荷の低減
etc.

人材基盤の強化

人材開発

働き方
改革

人材獲得
力強化

人事制度
改革

技術力・専門性の発揮

事業基盤の強化

設備工事

メンテナンス

製品開発

IT

グループ連携・技術の融合

グループ数値目標

売上高 300億 営業利益 15億円 の安定的な達成

人材基盤の強化

1. 人材開発

- 教育研修体系の整備
- 若手・中堅社員への教育投資

2. 働き方改革の推進

- 健康経営
- ITを活用した新たな働き方

3. 人事制度改革

- 多様な働き方・仕組みの導入
- ミッション・グレード制の導入

4. 人材の確保・拡充

- 新卒・中途採用活動の強化

事業基盤の強化

1. 社会的な要請に対する取り組み強化

- スマートファクトリー
- IoT・ネットワーク
- エネルギーマネジメント
- 再生可能エネルギー
- 防災・減災インフラ

2. 新規顧客開拓

- 商圏、業種の拡大

3. 提案力の向上

- グループ技術・開発部門のコラボレーション

4. 高い品質・安全水準の堅持

平成30年3月期事業方針

平成30年3月期 事業方針



【事業基盤の強化】

- 技術開発とグループ内連携による差別化
 - 独自技術（FENET、バイバイキング、FMMS 等）
 - 省エネ・スマート化（ビル、工場、浄水場 等）
 - 再生可能エネルギー（小水力発電、バイオマス発電）
 - IoT（情報収集技術）
- 新たな顧客・エリアの開拓

【人材基盤の強化】

- 社員教育の推進
（若手社員への重点的教育投資、技術の継承 等）
- 働き方改革の推進（健康経営、ITツールの導入）
- 人員増強

平成30年3月期 業績見通し

平成30年3月期連結業績見通し



● 連結損益計算書

	平成28年 3月期	平成29年 3月期	平成30年3月期 見通し	
	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)	増減率
売上高	26,976	26,287	27,000	2.7%
営業利益	1,364	1,427	1,450	1.6%
経常利益	1,307	1,521	1,530	0.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	761	1,009	1,020	1.1%
1株当たり配当金	16円	23円	20円(予定)	



平成29年3月期決算説明会

完

平成29年6月14日

藤田エンジニアリング株式会社

- 本資料記載の藤田グループの計画、戦略、意見等のうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通し又は目標であり、リスクや不確定な要素を含んでおります。
実際の業績は様々な要因により、これらとは異なる結果になりうることをご承知おき下さい。
- 本資料に掲載されている事項は、情報提供を目的とするものであり、投資勧誘目的で作成されたものではありません。
- 本資料の著作権は藤田エンジニアリング(株)に帰属しており、無断で転載・複製することを禁じます。